

平成29年度 市町村職員道外先進事例研修 ― 研修先の概要(1)

1 研修先

富山県富山市（とやまし）

(1) 人 口

417,969 人 175,710 世帯（H29年8月末現在）

(2) 市の概要

富山市は富山県のほぼ中央から南東部分までを占め、北には豊富な魚介類を育む富山湾、東には雄大な立山連峰、西には丘陵・山村地帯が連なり、南は豊かな田園風景や森林が広がっている。市内には神通川や常願寺川など大小の河川が流れ、古くから川で結ばれた文化圏を形成している。海の幸に恵まれた富山湾から登山家たちを魅了してやまない3,000メートル級の山々までが織りなす自然の姿は、世界第一級の景観をなしている。

富山市の平野部は、豊かな農耕地帯として、また北陸道などの交通の要衝として古くから栄え、江戸時代になると、薬業や和紙などの産業が奨励され、飛騨街道や北前船航路などの交通・物流網の整備や越中売薬の独特の商法も相まって「くすりのとやま」として全国に知られるようになった。

平成8年には中核市に移行し、平成17年4月には、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の7市町村が合併し、新しい「富山市」が誕生した。

2 研修テーマ

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりについて

3 取組内容等

(1) 目的・取組内容

富山市では、平成14年から公共交通を活性化させ、その沿線に住居や商業などの都市の諸機能を集積させることで、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現する「コンパクトなまちづくり」を目指してきた。

平成17年4月に7市町村による新設合併によって、現在の富山市が発足。旧市町村を「団子」にたとえ、それぞれの特徴を生かしながら、公共交通という「串」でつないで持続可能なまちづくりを進めるのが、富山市のコンパクトシティの基本コンセプトである。

(2) 成果

日本初の「ライトレール」の導入などコンパクトシティへの取り組みが評価され、平成20年7月に低炭素社会の実現に向け先駆的な組みを行う「環境モデル都市」に、平成23年12月、「環境未来都市」にも選定された。また、平成24年6月には、OECD（経済協力開発機構）によって、メルボルン、バンクーバー、パリ、ポートランドと並び、コンパクトシティの世界の先進モデル都市にも選出されている。

平成29年度 市町村職員道外先進事例研修 ― 研修先の概要(2)

1 研修先

石川県七尾市（ななおし）

(1) 人 口

54,119 人 22,228 世帯（平成29年8月末現在）

(2) 市の概要

七尾市は石川県の北部、能登半島の中央に位置し、北は穴水町、西は志賀町、南は中能登町と富山県氷見市と接している。この地域は、天然の良港として栄えてきた七尾港を海の玄関口とし、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展を続けている。

また、能登半島国立公園の中心に位置し、開湯1200年渚のいで湯として全国的に有名な和倉温泉や、様々なリゾート施設を有する観光の島・能登島をはじめ、観光資源豊富な魅力が溢れる。

平成16年10月、「港と温泉のまち 七尾市」・「建具のまち 田鶴浜町」・「演劇のまち 中島町」・「観光の宝島 能登島町」の1市3町が合併し新七尾市が誕生した。

2 研修テーマ

地域での創業支援制度について

3 取組内容等

(1) 目的

七尾市、七尾商工会議所、能登鹿北商工会、のと共栄信用金庫、日本政策金融公庫は、平成26年1月に各支援機関がそれぞれ有する支援メニュー、ニーズ等の情報共有を行い、創業者のステージに応じた支援メニューをスピーディーに提供し、創業初期段階から創業後のフォローまでの支援を強化することで、当地域における創業者支援を活発化させ、ひいては事業所数減少の歯止めと、地域における新たな需要を喚起し地域の雇用を産み出し活力をもたらすことを目的に業務提携（提携名：ななお創業応援カルテット）を締結した。

(2) 取組内容・成果

「ななお創業応援カルテット」では、創業相談会、補助金支援、資金調達支援、事業計画策定支援などの、さまざまな支援メニューに取り組んでいます。また、創業・第二創業（事業継承予定者・企業内創業）・プチ創業（主婦など）を目指す人を対象に、ビジネスアイデアから創業までをお手伝いする『創業塾』を開催している（年10回）。

さらに、市内企業の総合的な経営支援を行うことで七尾市を元気にすることができる「ローカルベンチャーアテンダント」の募集や今年5月に全国10市町村で構成するローカルベンチャー推進協議会に参加している。（北海道では、下川町、厚真町が参加）

平成29年度 市町村職員道外先進事例研修 ― 研修先の概要(3)

1 研修先

富山県南砺市（なんとし）

(1) 人 口

51,991 人 17,795 世帯（平成29年8月末現在）

(2) 市の概要

南砺市は富山県の南西端に位置し、西は石川県、南は岐阜県と接しています。平成16年11月に8つの町村（城端町、平村、上平村、利賀村、井波町、井口村、福野町、福光町）が合併し、「南砺市」が誕生した。面積は668.64平方キロメートル（東西約26キロメートル、南北約39キロメートル）で、そのうち約8割が白山国立公園等を含む森林であるほか、岐阜県境に連なる山々に源を発して庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれている。また、市北部の平野部では、水田地帯の中に美しい「散居村」の風景が広がり、独特の集落景観を形成している。

平成7年にユネスコ世界遺産に登録された「五箇山の合掌造り集落」をはじめ、平家の落人の哀愁を奏でる「麦屋節」や、平安時代に成立した田楽が起源とされる「こきりこ」などの「五箇山民謡」、家並みが美しい「越中の小京都・城端」、板画家棟方志功の住居「愛染苑」と氏の作品が展示される「福光美術館」、そして瑞泉寺門前の古い町並みから木槌の音が響く「信仰と木彫りの里・井波」など、香り高い歴史・文化遺産に、年間を通じて多くの人々が訪れている。

2 研修テーマ

人口減少対策（婚活・定住促進）について

3 取組内容等

(1) 目的・取組内容

「南砺で暮らしません課」は、定住促進策の一元的な実施を目的に平成26年4月に新設、「婚活支援係」と「定住・空き家対策係」を設け、市内のコミュニティプラザ内に設置し、土日祝日も対応している。（休業日は毎週火曜日と毎月第4月曜日）

婚活については、平成23年度に、市長が「なんとを元気にするまちづくり事業」として職員に提案を募り、その中に婚活に関する提案もあったことから本格的に取組を開始、「あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（AIP48）」と銘打ち、48組の成婚を目標に取り組み、平成27年度に目標を達成。

定住促進については、定住奨励金と民間賃貸住宅の家賃補助といった転入者向けのみならず、三世代同居奨励の補助金や、同居推進のためのリフォーム助成など幅広くメニューを設けている。

(2) 成果

（株）宝島社『田舎暮らしの本』2017年2月号に掲載された「第5回 住みたい田舎ベストランキング」で総合部門第3位となった。また、「あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（AIP48）」は、平成29年9月13日現在、86組が成婚し市内居住している。